

# 白神山地における協力金制度の取組みについて

津軽森林管理署 ○ 技術専門官 工藤 大輔

## 1 はじめに

当署管内のレクリエーションの森に指定されている「白神山地、暗門の滝自然観察教育林」は平成5年に白神山地世界自然遺産の一部に登録されて以降、入山者が急激に増加する一方、ゴミ処理等の環境保全が大きな課題となり、従来の地元村のみによる保全管理に限界が生じています。これらのことから、当該周辺地域森林環境の早急な整備を図るため、当地を訪れる方々から自主的な協力金を募ることとした。

## 2 白神山地・暗門の滝自然観察教育林の概要について

「白神山地・暗門の滝自然観察教育林」は、白神山地森林生態系保護地域のバッファゾーンに位置する山岳林で日本海側の典型的なブナを主体とする天然林から形成されており、渓谷、滝等随所に見られ、高山植物、生息動物も豊富で各峰山頂からの眺望は特に素晴らしく、一般の方々が気軽に入れるコースはブナ林散策歩道と、暗門の滝である。

図-1 (白神山地、暗門の滝自然観察教育林)





写-1 (白神山地暗門の滝、遊歩道散策風景1)



写-2 (白神山地暗門の滝、遊歩道散策風景2)

3 募金の実施方法について

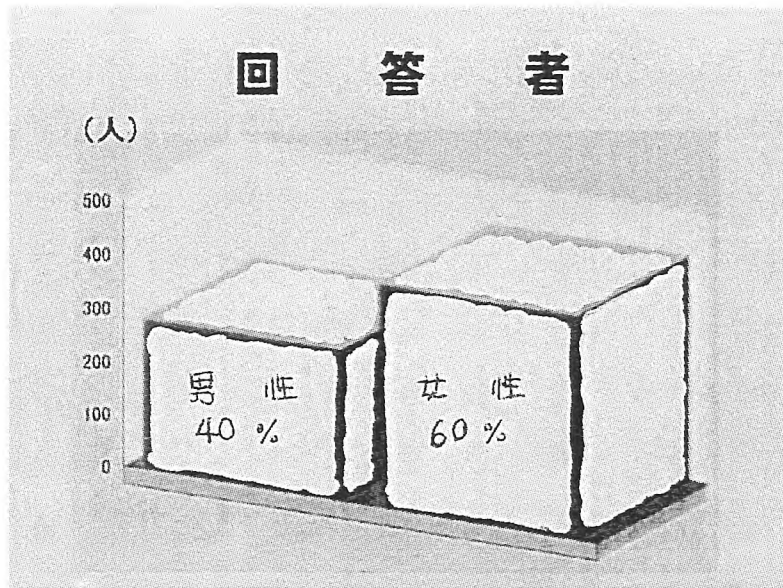
募金の名称を「森林整備環境推進協力金」とし、取組みに対してのアンケートを実施した。

ア 回答者

取組にあたり、事前に来訪者の意識調査をアンケート方式により6月30日と、8月18日の2日間暗門の滝遊歩道入口で実施した。

回答者は(表-1)のとおり、女性が60%、男性が40%で、女性の方が暗門の滝に関する関心の高さが伺える。

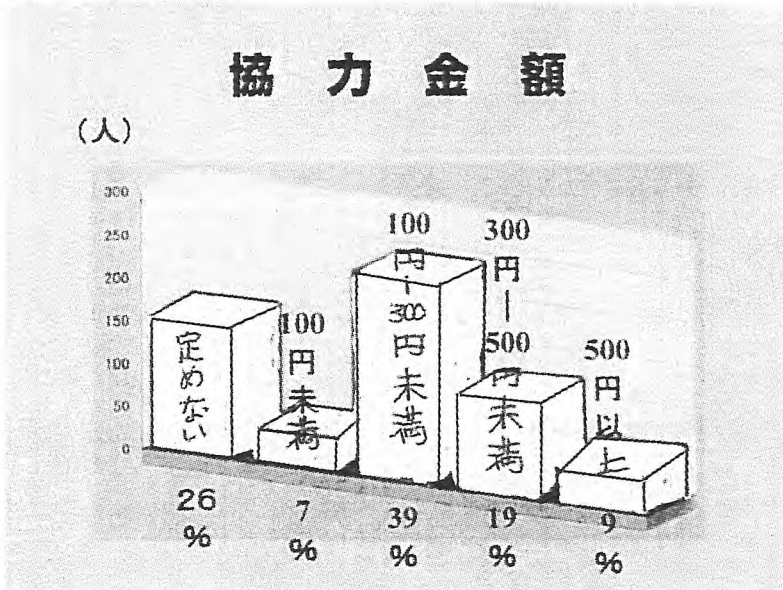
表-1 (回答者)



イ 協力金額

金額については(表2)、1番が100円から300円未満で39%、2番が定めない(自由)で26%、3番が300円から500円未満で19%、以下500円以上が9%、100円未満が7%となった。

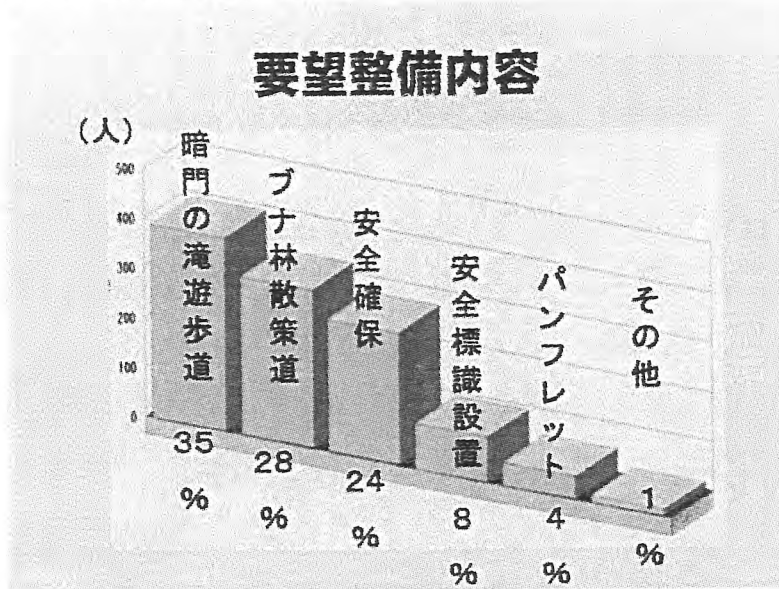
表-2 (協力金額)



ウ 整備を要望する内容

整備を要望する内容は複数回答方式で(表-3)、1番が暗門の滝遊歩道の環境保全・美化で36%、2番がブナ林散策道の環境保全・美化で31%、3番が安全確保・歩道修理で21%、以下安全標識が8%、パンフレット作成・配布が4%、その他が1%となった。

表-3 (整備を要望する内容)



4 実施内容

当初は協議会方式による実行を考えていたが、関係機関等との調整に時間を要するため、当面国直轄方式(署実行)で試行実施することとした。

実施期間は、9月11日～11月14日で延べ64日にわたり、白神山地、暗門の滝自然観察教育林の遊歩道入口付近で、入山者に森林環境整備推進協力金の趣旨を説明し、賛同者には自主的に協力金を募り、300円以上を募金した入山者に対しては、協力金の証を交付するとともに案内図的な周辺地域のパンフレットを配布し、啓蒙普及を図った。



写-3 (募金風景1)



写-4 (募金風景2)

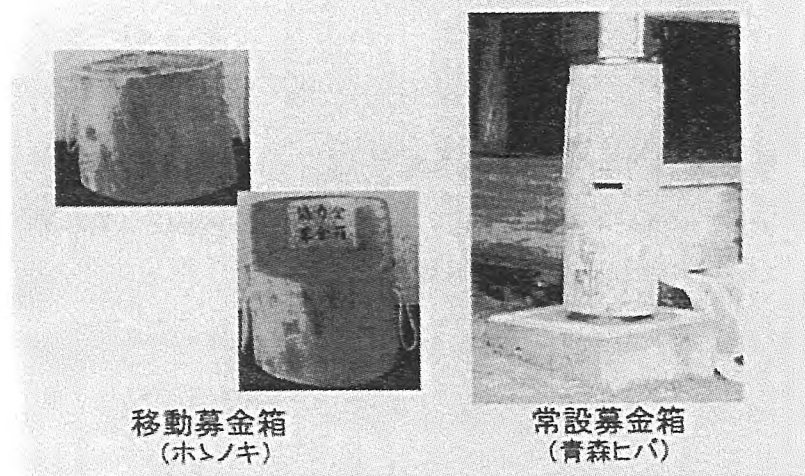


写-5 (募金風景3)

ア 森林環境整備協力推進協力金は、強制にわたらないよう配慮しながら入山者の理解に努めた。

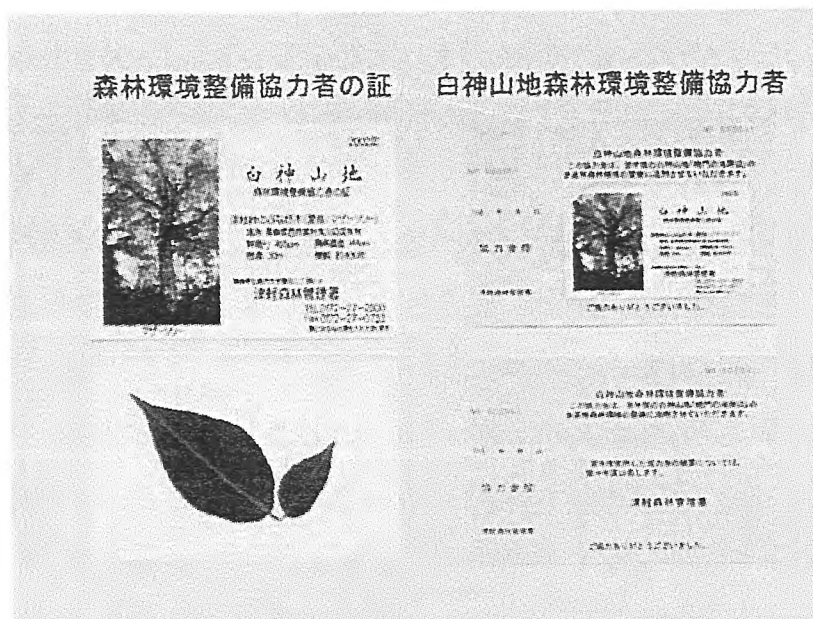
イ 募金箱は天然素材で作成して設置し、親しみやすいように配慮しながら理解に努めた。

## 空洞木を利用した募金箱

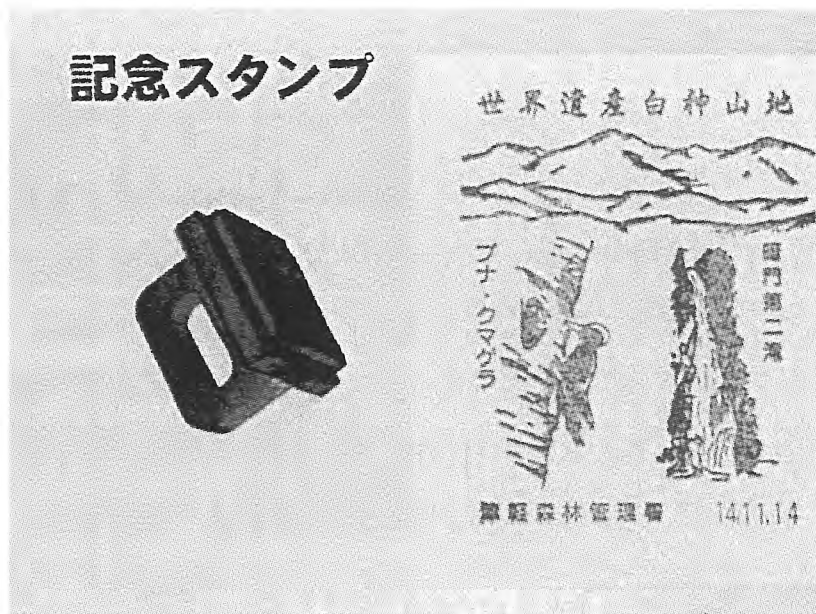


写-6 (各募金箱)

- ウ 募金は自主的にしてもらい、金額は目標額は明示するものの任意の金額とした。
- エ 一定額(300円以上)の募金者には、記念として白神山地のシンボルであるブナの葉とブナの巨木の写真をパウチした「森林環境整備協力者の証」を配った。

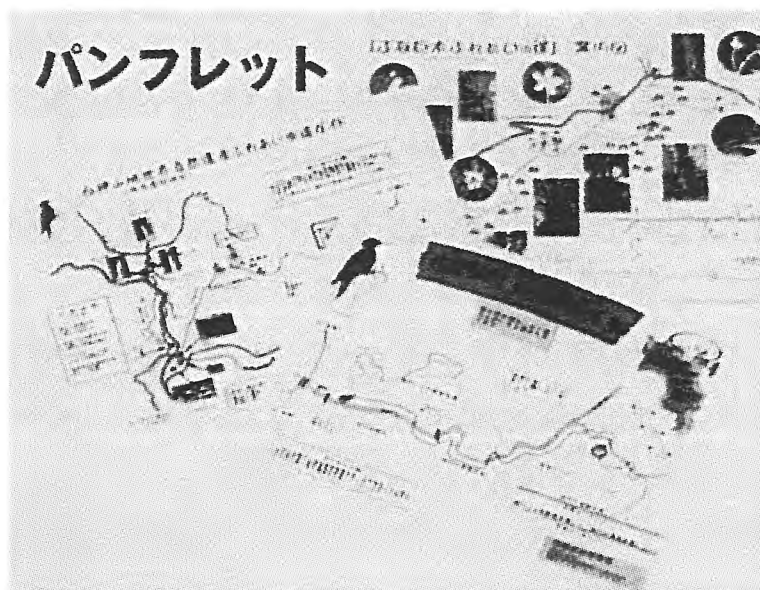


写-7 (協力金カード)



写-8 (記念スタンプ)

オ 入山者が持参したパンフが内容の古いものであったことから、実施途中において、新しい案内図等各種パンフレットを作成し配布した。



写-9 (各種パンフレット)

カ 県内の観光バス会社、市内タクシー会社に「協力金の趣旨と、強制しているものではない」旨の文書を持参し協力を要請した。

5 実施結果

アンケート応諾者、非応諾者の合計推定値がほぼ均等していることから、無人時の募金者および300円未満の募金者は全体の募金者の40%近くになるものと思われる。

この表は、9月1日から11月14日までの、延べ64日間について、月ごとに、入込者数・証発行数の平日と休日ごとに表にしたものである。

平日における入込者数は15,255人で300円以上の協力者証の発行枚数は4,933枚、募金金額は1,894,534円であった。

また、休日における入込者数は19,753人で300円以上の協力者証の発行枚数は5,669枚、募金金額は2,074,864円であった。

合計で入込者数は35,008人、300円以上の協力者証の発行枚数は10,602枚、募金金額は3,969,398円となった。

このような中で、現実的には例として、一人で1,000円を募金し、家族の分と証発行枚数の発行率は、30%となった。

9月では37%であり、協力金のスタートということで、9月12日から18日までの間で東奥日報で1回、陸奥新報で2回、産経新聞で1回と新聞報道が続いたことが%につながったと考える。

10月では27%と低位結果となった。この月においては、募金期間最高の入込者数及び証発行枚数を10月13日の日曜日に記録したものの、上旬の台風の襲来や雨により、暗門の滝遊歩道入り口から滝までが増水により8日間通行止めになったことが要因と考えられる。

11月は、降雪等の悪天候のため通行止めが続き、入込者数、証発行枚数が少なかったが、委託契約が10月下旬から始まり、その結果向上したものとする。

表-4 (協力金募金集計表)

協力金額集計表

(表1)

月	区分	日数	入込者数	平均	証発行数	平均	割合	募金金額
		日	人	人/日	枚	枚/日	%	円
		a	b	c=b/a	d	e=d/a	f=d/b*100	g
9月	平日	11	3,966	361	1,458	133	36.8	494,106
	休日	8	5,874	734	2,171	271	37.0	711,645
	計	19	9,840	518	3,629	191	36.9	1,205,751
10月	平日	22	10,830	492	3,240	147	29.9	1,289,831
	休日	9	13,018	1,446	3,184	354	24.5	1,236,607
	計	31	23,848	769	6,424	207	26.9	2,526,438
11月	平日	9	459	51	235	26	51.2	110,597
	休日	5	861	172	314	63	36.5	126,612
	計	14	1,320	94	549	39	41.6	237,209
計	平日	42	15,255	363	4,933	117	32.3	1,894,534
	休日	22	19,753	898	5,669	258	28.7	2,074,864
	計	64	35,008	547	10,602	166	30.3	3,969,398

(注) ①平成14年9月11日から平成14年11月14日までの集計値である  
②休日には土、日、祝日で集計





写-10 (新聞各紙)



写-11

森林ガイド、ツアー添乗員、タクシー運転手等関係者の中にも理解を示し非常に協力的な人が多かった。

新聞等にも取り上げられたが、いずれも好意的な報道であった。

来訪者は募金に協力的であり、最終募金額は約4,010千円となり300円以上の募金者は、10,602人を数え、同数の「協力者の証」の発行となった。

6 考察

- (1) 募金の結果や募金者との応答内容等から、入山者の協力姿勢、森林環境整備に対する意識が高く、アンケート調査の結果と合致していること等から、募金活動を継続して実施出来たのではないかと思われる。
- (2) 募金の使途は「審議会」を設置し、整備内容を決めるが、次年度の予算としてすべて計上される。このことから、レクの森周辺を含めた白神山地の森林環境の整備に大きな展望が開けたものと思われる。
- (3) この協力を継続していく上で、広く来訪者の意見・要望を聞き、「真に親しめる目に見えた募金の活用」が望まれる。
- (4) 全国からの来訪者から、白神山地、森林関係は勿論、鳥や植物の名、道路事情、宿泊施設等々の様々な質問をされた。  
インフォメーション的役割も期待されることから、白神山地全体の内容について熟知することは、イコール「協力と期待」につながると考えられる。

7 おわりに

今回の森林環境整備推進協力金の施行実施にあたり、募金者の協力と上局はじめ関係機関の御協力に感謝すると共に、今後も御支援よろしくお願ひしたい。